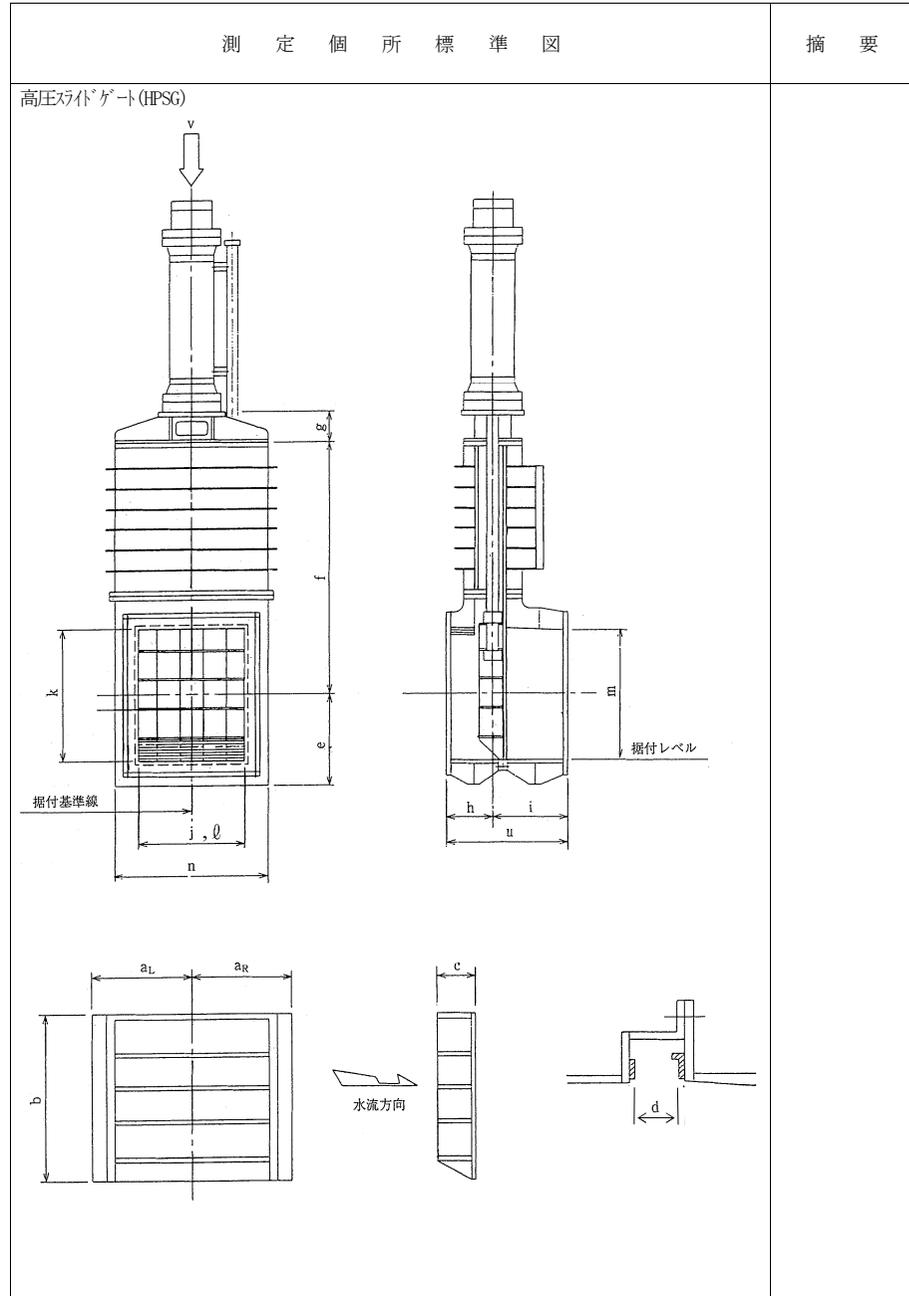


(3) 小容量放流ゲート・バルブ

工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準	
水門設備 2. ダム用水門設備 (3) 小容量放流ゲート・バルブ (製作)	1. 高圧パイプゲート (HPSG)、リングホロゲート (RFG)、ジェットフローゲート (JFG)	B	扉体幅 (a)	±1 (a <sub>L</sub> , a <sub>R</sub> )	「共通」 摺動板又は水密板部を測定。上下2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	扉体高 (b)	±1	「共通」 左右各1箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	扉体の厚さ (c)	B, H < 0.5 ±2 0.5 ≤ B, H < 1.0 ±3 1.0 ≤ B, H ±4	「共通」 各桁左右2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。 B: フランジ幅 (m) H: 腹板高 (m)
		A	戸溝の幅 (d)	±1	「共通」 左右上下2カ所を金属製直尺を使用して測定する。
		A	ケーシング高さ (e)	±3	「共通」 左右2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	ケーシング高さ (f)	±2	「共通」 左右2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	ホネットカバーの高さ (g)	±2	「共通」 金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	上流側ケーシング長さ (h)	±2	「共通」 左右2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	下流側ケーシング長さ (i)	±2	「共通」 左右2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	上流側管胴幅 (j)	±3	「HPSG」 上下2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	上流側管胴高 (k)	±3	「HPSG」 左右2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	下流側管胴幅 (l)	±3	「HPSG」 上下2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	下流側管胴高 (m)	±3	「HPSG」 上下2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	ケーシング幅 (n)	±5	「共通」 左右2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		B	上流側ボルト穴 P.C.D (o)	±1	「RFG」 2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		B	下流側ボルト穴 P.C.D (p)	±1	「RFG」 2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
		A	シールリング口径 (q)	+2, -0	「JFG」 2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。
	A	扉体口径 (r)	±3	「RFG」 2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。	
	A	上流管口径 (s)	±3	「RFG」 2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。	
	A	下流管口径 (t)	±3	「RFG」 2箇所を金属製直尺、鋼製巻尺を使用して測定する。	
B	ゲート垂直度 (v)	2	「共通」 開閉機・ゲートの垂直度、トランシットを使用して測定する。 ※検査状態で可能な場合計測する。		



測定箇所標準図	摘要
<p>リングフローゲート(RFG)</p> <p>Technical drawing of a Ring Flow Gate (RFG) showing front and side views with dimensions <math>a_L</math>, <math>a_R</math>, <math>b</math>, <math>c</math>, <math>d</math>, <math>e</math>, <math>f</math>, <math>g</math>, <math>h</math>, <math>i</math>, <math>n</math>, <math>u</math>, <math>v</math>, and labels '据付基準線' and '据付レベル'.</p>	

測定箇所標準図	摘要
<p>ジェットフローゲート(JFG)</p> <p>Technical drawing of a Jet Flow Gate (JFG) showing front and side views with dimensions <math>e</math>, <math>f</math>, <math>g</math>, <math>h</math>, <math>i</math>, <math>n</math>, <math>u</math>, <math>v</math>, and labels '据付基準線' and '据付レベル'.</p> <p>(扉体、戸溝寸法測定箇所は高圧スライドゲート、リングフローゲートと同様とする)</p>	

工 種	分類	項 目	管理基準値 (mm)	測 定 基 準	
水門設備 2. ダム用水門設備 (3) 小容量放流ゲート・バルブ (据付)	B	1. 高圧スライドゲート、シエツトフローゲート、リングホロゲート	水路軸に対する管路軸のずれ	± 5	トランシット、レベル、金属製直尺等を使用する。
		標 高	± 5	管中心または底面をレベルを使用して測定する。	
		傾斜度	—	位置決定後角度ゲージにて確認する。	
		垂直度	± 2	開閉機・ゲートの垂直度をトランシットを使用して測定する。	

測 定 個 所 標 準 図	摘 要

(4) 小容量放流管

工 種	分類	項 目	管理基準値 (mm)	測 定 基 準
水門設備 2. ダム用水門設備 (4) 小容量放流管 製作)	1. 放流管	A 単位管長 (a)	± 5	左右各1箇所を鋼製巻尺で測定する。
		A 管径 (b)	± 0. 2 5%	φ1000 mm以上は鋼製巻尺又はインサイドバーニアで内径の天地左右を測定、φ1000 mm以下は外周長を鋼製巻尺を用いて測定し内径に換算する。測定位置は管端、管中央の3箇所とする。
		A 真円度 (c)	1. 0 0%	管端で設計管径に対する長径と短径の差を鋼製巻尺又はインサイドバーニアで測定する。
		B 管端面の傾き (d)	± 0. 5 ± 3	フランジ継手 天地左右を下げ振りで測定する。 溶接継手
		A 補剛材の間隔 (e)	± 1 0	鋼製巻尺で測定する。
		A 補剛材の寸法 (f)	BH<0.5 ±2 0.5≦BH<1.0 ±3 1.0≦BH ±4	同寸法の場合分割ブロック 各1箇所を鋼製巻尺で測定する。 B : フランジ幅(m) H : 腹板高(m)
		A ベルマウス曲線 (g)	± 4	天地左右のベルマウスの中央線上で各5点以上ベルマウス曲線に合わせた形を使用しすきまゲージで測定する。
		2. トランジション管	A 管長 (a)	± 5
	A 管径 (b)		± 3	フランジ部を対角に鋼製巻尺で測定する。
	A 管幅 (c)		± 2	上下を鋼製巻尺で測定する。
	A 管高 (d)		± 3	左右を鋼製巻尺で測定する。
	B 対角長の差 (e)		3	各1箇所を鋼製巻尺で測定する。 ( $e =  e_1 - e_2 $ )
	B 管端面の前後・左右の傾き (f)		± 0. 5 ± 2	フランジ継手 天地左右を下げ振りで測定する。 溶接継手
	B 補剛材の間隔 (g)		± 1 0	鋼製巻尺で測定する。
	B 補剛材の寸法 (h)	BH<0.5 ±2 0.5≦BH<1.0 ±3 1.0≦BH ±4	分割ブロック各1箇所を鋼製巻尺で測定する。 B : フランジ幅(m) H : 腹板高(m)	
3. 分岐管	A 管長 (a)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
	A 分岐角度 (θ)	± 3 0'	単位管長を測定し計算にて算出する。	
	A 管径 (c)	± 0. 2 5%	鋼製巻尺あるいはインサイドバーニアで測定する。	
	A 真円度 (d)	1. 0 0%	管端で設計管径に対する長径と短径の差を鋼製巻尺又はインサイドバーニアで測定する。	
	B 管端面の前後・左右の傾き (c)	± 0. 5 ± 2	フランジ継手 天地左右を下げ振りで測定する。 溶接継手	

測 定 個 所 標 準 図	適 要
<p>1. 放流管</p> <p>2. トランジション管</p> <p>3. 分岐管</p> $\theta = \cos^{-1} \frac{a_2^2 - a_4^2 - a_1^2}{2 \times a_4 \times a_1}$	

工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準
水門設備 2. ダム用水門設備 (4) 小容量放流管(据付)	1. 放流管	B 据付基準線からの距離 (a)	± 10	鋼製巻尺と下げ振りで測定する。
		B 管標高 (b)	± 5	レベルと金属製直尺で測定する。
		B 水路軸に対する管路軸のずれ (c)	± 5	鋼製巻尺と下げ振りで測定する。
	2. トランジション管	A 据付基準線からの距離 (a)	± 10	鋼製巻尺と下げ振りで測定する。
		A 管標高 (b)	± 5	レベルと金属製直尺で測定する。
		A 水路軸に対する管路軸のずれ (c)	± 5	下げ振りと金属製直尺で測定する。
		A 管径 (d)	± 3	鋼製巻尺あるいはインサイドバーニアで測定する。
	3. 分岐管	A 管長 (a)	± 5	鋼製巻尺で測定する。
		A 管径 (c)	± 0.25%	鋼製巻尺あるいはインサイドバーニアで測定する。
		A 真円度 (d)	1.00%	管端で設計管径に対する長径と短径の差を鋼製巻尺又はインサイドバーニアで測定する。
		A 据付基準線からの距離 (f)	± 10	鋼製巻尺と下げ振りで測定する。
		B 管標高 (g)	± 5	レベルと金属製直尺で測定する。
	B 水路軸に対する管路軸のずれ (h)	± 5	鋼製巻尺と下げ振りで測定する。	

